

木造軸組構法〈戸建て住宅〉 断熱等性能等級4

仕様基準

4~7地域

フラット35S 対応

長期優良住宅 対応

<建築物省エネ法住宅仕様基準> 開口部比率 区分(に)が設定

2016年4月1日より「仕様基準」における開口部比率の上限がなくなりました。
これにより、全ての新築住宅への適合が可能となりました。

$$\text{開口部比率} = \frac{\text{開口部面積の合計}}{\text{外皮面積の合計}}$$

開口部比率区分	開口部比率	開口部の熱貫流率基準値(※1)		開口部の日射遮蔽基準(※2)	
		4	5・6・7	4	5・6・7
(い)	4・5・6・7 0.08未満	4	6.51	4	5・6・7
(ろ)	0.08以上0.11未満	3.49	4.65	—	次のいずれか ・ガラスの日射熱取得率0.74以下 ・付属部材やひざし、軒の設置
(は)	0.11以上0.13未満	2.91	4.07	—	次のいずれか ・ガラスの日射熱取得率0.49以下 ・0.74以下にひざしや軒の設置 ・付属部材の設置
(に)	0.13以上	2.33	3.49	—	

※1…窓面積が床面積の合計に0.02を乗じた値以下の窓は除外可能(当該窓が2以上の場合は、その合計の面積)
※2…窓面積が床面積の合計に0.04を乗じた値以下の窓は除外可能(天窓以外)



【仕様基準】に準拠した 適合仕様

屋根 必要な熱抵抗値：4.6

HG16-38
イソバール・スタンダード **高性能品**
90mm×2

熱抵抗値 **4.8**



天井 必要な熱抵抗値：4.0

HG16-38
イソバール・スタンダード **高性能品**
155mm

熱抵抗値 **4.1**



ここがポイント!

開口部比率区分(に)の開口部を採用すれば
全ての新築住宅で、記載している断熱
仕様で基準適合となります。

開口部

4 地域 熱貫流率U ≤ 2.33

(例)樹脂(木)と金属の複合材料製建具 Low-E複層(A10以上)

5~7地域 熱貫流率U ≤ 3.49

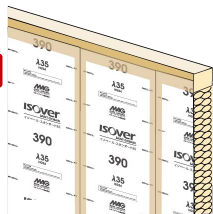
(例)金属製建具 Low-E複層(A10以上)

※その他に日射遮蔽の基準があります。

外壁 必要な熱抵抗値：2.2

HG16-38
イソバール・スタンダード **高性能品**
90mm

熱抵抗値 **2.4**

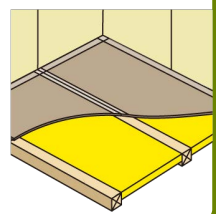


床 必要な熱抵抗値：2.2

32-36
床トップ剛床 **通常品**
80mm

熱抵抗値 **2.2**

※根太の場合は
床トップ80



マグ・イソバール株式会社
〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目7番地(サンゴバンビル)
Tel.03-3288-6636 Fax.03-3288-7362
http://www.isover.co.jp

製品に関するお問い合わせは…

マグ・イソバール コールセンター フリーコール受付時間 AM9:00~12:00 PM1:00~5:00 ※平日のみ

TEL

0120-941-390

FAX

0120-941-391

MAG
ISover SAINT-GOBAIN

断熱から始まる快適エコ